

茶華道部

R5年度の部員数

(1年 11人 2年 7人 3年 3人)

主な活動内容

茶華道部は、毎週火・金曜日、週2回、講師の先生（表千家）にお点前を習っております。

年間を通して、割げいこに始まり、客作法、薄茶点前、濃茶点前、略手前と季節ごとにその風情を味わいながらお稽古を重ね、その作法を学びます。

今年4月、新年度の幕開けは、近年に無く多くの新入生11人を迎え、部員数の減少で茶華道部の存続が危ぶまれる中、幸先良くスタートしました。

夏休みには、表千家家元主催『学校茶道研修会』が京都【不審菴】で行われ、部員6名（2年生）が参加しました。家元の茶室（不審庵）の見学と内弟子による千利休の話、大広間での茶会を体験しました。歴史ある茶室での研修は、身の引き締まる思いで大変貴重な経験となりました。その最後の席で呈茶の折、恵那高校の生徒が立派に正客を務め、頼もしく感じて研修を終えました。

9月の城陵祭では、3年間開催できなかった『お茶会』が、5月にコロナウイルス感染症が5類に移行した関係で4年ぶりに開催することができました。夏休み中に講師の可知先生の指導の下浴衣の着付けを習得し、その浴衣姿でお点前、お菓子運びを交代で担当しました。今年は150名ほどのお客様にお抹茶と栗きんとんを楽しんでいただきました。



10月には、部活の活動場所である花ノ木会館の茶室の襖を新調しました。新しい襖できれいになった茶室のもと、気持ちも新たに一層意欲的に部活動に励んでおります。

11月には、恵那市民茶会に参加して薄茶・野点・お点心を頂き、一般の方との交流も出来ました。

茶の湯は、一年を通してその季節毎に四季折々に巡らされる風情ある事象に心癒されます。日本の伝統文化である茶の湯を通して、日本人の和の心を大切に、一つ一つ楽しみながら学んでいきたいと思っております。